事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	1		・少し狭さを感じる時がある。 ・基準は満たしているが、多様な障害児が 在籍してるため、状況によっては適切とは 言い難い。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3	1		・配置上に問題ないが、その日の利用児童の障害特性により、加配が必要な場合もあり、足りていないと感じることもある。 ・適した人員配置を行っているが、介護度も高いため、人は必要である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	10				・バリアフリーな施設としては出来ている。 ただし、人力での介助の場面が多いた め、スタンディングリフトや天井走行リフト などの導入など進めている。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	2			・書類の作成は児発管が行っているが、 日頃のミーティングなどで確認、周知を行い多職種の複数の職員が参加している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1			・アンケートの実施、日頃の電話やラインでのやり取りで保護者の意向を汲み取る努力をしている。 ・保護者からの意見などには、できる限り対応し、業務改善に努めている。
業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	10				毎年、アンケートを実施してホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか		8	1	1	・直接的な第三者からの外部評価は行っていないが、一部の部会や委員会には地区の区長や評議員に入ってもらい意見をもらっている。 ・次年度、検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	1		・事業所内部での研修以外にも、さまざまな外部研修にも、数名ではあるが、希望する者は参加できている。 ・研修ではなく、他事業所への見学にいく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	2	8			・児発管と担当職員を中心に作成できている。日頃の会話や家族と電話やLINEのやりとりを通してニーズをくみ取る努力をしている。 ・実施はしているが、客観的に分析できていない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	2	2	・事業所独自のアセスメントツールを活用 し、本児及びご家族から聞き取りを行い、 計画に反映させている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	1		・医療的ケア児は、活動に参加できてない事もある。 ・リハビリ職や保育士を中心に、プログラムを考え、職員間で情報共有し、実施している。 ・月間予定表が主であるため、個別ではない。

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	3		施 を る	基本的には曜日ごとに活動を決めて実 しているが、学習内容の変更や季節感 感じられるよう内容に工夫を凝らしてい 。 司じ活動にならないようにしている。
適切な支援の提	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	5	4	1	動 実 後 様 ・ 3	週末は滞在時間が長いため毎週同じ活力ではなく、週ごとに活動内容を計画して施している。また、長期休暇は午前、午で身体を使う活動や頭を使う活動などな活動を実施している。平日利用と違い、休日や長期休暇では、前、午後と活動を実施している。
供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	1	支よい・セーケ	それぞれの特性や本人の意欲に沿って :援を行っている。また、学習レベルに っては英語の活動などを別で実施している。 心る。 人員不足により個別と集団の組み合わいでの実施は難しい状況である。 固別活動と集団活動には分けて実施しいることもあるが、対応できていないこもある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認しているか	8	2		児ど	毎日ミーティングを行い、その日の利用 童の特性、気をつけること、確認事項な を伝達し、活動内容、役割分担などを話 合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか	5	2	3	休	翌日には、前日の振り返りとして、前日 みだった職員にも情報共有できるよう 、話し合いを行う時間を設けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1		反 院 員 · · · 病	毎日、どのように過ごしたのかや児童の 応をケース記録に残している。また、病 受診や体調などは担当職員や看護職 で記録をしている。 学校や家族からの伝達事項だけでなく、 院受診の状況、その日の様子がわかる うに、詳しく記録に残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いるか	9	1		画の援	見発管を中心にモニタリングを行い、計 「の見直しを行っている。必要に応じてそ」他の職員と話し合いを行い、より良い支が実施出来る様している。 定期的に家族の意向も確認できている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っているか	8		1		ガイドラインに沿って、個別支援計画に :案し、支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画しているか	10			職し・・・第参	見発管が中心になり、必要に応じて看護 員やリハビリの職員が入り会議に参加 ている。 見発管だけでなく、その時の対象児童次 では、看護師やリハビリ職にも一緒に き加してもらい、専門的な意見などをも っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			・3 迎 整 な	丁寧にしていると思う。 年間行事予定表を各学校からもらい、送 時間の変更など学校に確認しながら調 している。また、流行病や天候による急 学校の休みの場合は電話やメールで連 があっている。

関係機関や保	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	3	1		・看護師より情報提供を受けている。 ・直接、病院と連絡を取ってはいないが、 家族から指示書や処方箋の情報を提供し てもらい、それに沿って支援、処置を行っ ている。また、医療情報提供書を作成し、 緊急時の受診病院などが分かる様にして いる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	1		・生活歴などをよく知らないときもある。 ・家族からの情報提供などから支援の検 討を行っている。 ・相談支援事業所などを通じて、情報共有 を行っている。
護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか	10				・相談支援事業所などを通じて、情報共有を行ったり、担当者会議を開催し、情報収集を行っている。 ・関係機関との移行支援会議で共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか	4	5	1		・全国発達支援協議会主催の研修などには、オンライン研修にて参加させてもらっているが、人数が限られている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	6	2	・交流していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか	1	1	5	3	・参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	10				・送迎時の伝達や連絡帳、電話やLINEなどで家族とコミュニケーションを図っている。 ・毎回の利用時の様子などを連絡帳へ記入し、報告を行い、必要時は保護者へ連絡を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	1	4	3	2	・実施していない。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10				・契約時に必要な説明を行い、また利用 者負担額の変更がある場合も、その都度 説明を行っている。
殴者への説明責	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	9	1			・児発管が必要な時に行っている。 ・半年毎のモニタリング聞き取りとは別に、子どもの発達に関する悩みや相談等には、適宜相談にのり、アドバイスを行っている。
任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか	1	2	6	1	・コロナで交流機会がない。・児発管が必要な時に行っている。・コロナの影響もあり、実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか	8	2			・電話、LINEにて受けられるようにしている。 ・意見として取り上げ適切に対応している。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	9		1		・毎月、月間予定用を配布し活動予定がわかるようにしている。また、行事など行ったあとで撮影した写真をLINEで送って家族が活動の様子を見れるようにしている。さらに年2回広報誌を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	10				・個人情報の取り扱いには充分に十分に注意している。 契約時に、必ず個人情報取り扱い同意書をもらっており、ホームページ、お便り、研修など外部向けの情報発信する際には、複数の職員でチェックを行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	9			1	・スタッフ間との日々のミーティングで情報 共有している。 ・支援を行った際の反応やしぐさから気持 ちを汲み取れるよう努力している。家族に その様子を伝えて、寄りよい支援に繋げ ている。 ・本人の表情や仕草等で思いを把握して いる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9		1		・今年度は12月にクリスマス会を行い、高 田中学校の学生や岩津地区の役員の方 たちと交流する機会を設けられた、
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		9	1		・各緊急対応マニュアルは作成、見直しを 行い、職員への周知、訓練を行っている。 家族への周知はできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	8	2			・年2回、防災避難訓練を実施したり、その他、消火器訓練、不審者訓練、通報訓練をも実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				・職員セルフチェックや虐待早期発見リストで調査を行い、全体会議で報告し、法人として虐待予防、早期発見に努めている。
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1			・身体拘束が必要な児童には事前に職員、家族で話し合いを行い、同意書に署名をもらってから行っている。また、身体拘束を行った場合には、記録に残し、個別支援計画書に記載している。 ・適切な必要とされる手続きや3ヶ月1回のモニタリングで必要性について見直しを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	8	2			・医師から直接指示は受けていないが、 家族からの情報提供を基に対応してい る。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	10				・毎日の朝礼でヒヤリハット、事故報告を行い、情報共有している。また、毎月の全体会議や係会議で報告、確認を行っている。